

在住外国人のための「生活ガイドブック」

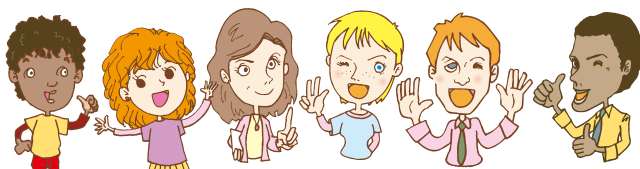
～外国の方が田原市での生活に

必要な情報を集めた冊子修正版が完成～

●生活ガイドブックとは？

在住外国人のための「生活ガイドブック」は、外国の方の田原市での生活をサポートするための情報を集めたもので、英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語の6言語版があります。見開きの状態で、左側が日本語、右側が外国語になっていますので、日本人の方と一緒に読むことができます。

このガイドブックに、外国人登録制度の廃止や、その他の制度の変更、新たな情報などを盛り込んだ修正版が完成した。



●市役所などで配布しています

「生活ガイドブック」は、外国の方の転入時などにお配りしています。必要な方には随時の配布もしています。皆さんの周りの方にも、ぜひご紹介ください。

◎配布場所

広報秘書課、市民課、渥美支所市民生活課
中央図書館、赤羽根図書館、渥美図書館

※市ホームページからダウンロード可

▶ 広報秘書課 ☎ 22局0138

 <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

季節を問わず発生し、海や山、平野など、どこでも落雷します。落雷数は8月が最も多く、冬の期間の約100倍です。夏は広範囲に発生して長時間継続し、冬は一回あたりの電気量が多いのが特徴

特徴

落雷といっています。



大気中で放電が起こる現象です。湿った空気が激しく上昇し、上空の低い温度の層に達すると、雲の中で小さな氷の粒が多量に発生し、雷雲となります。放電は、雲の中での小さな氷の粒の衝突によつて起こると考えられています。雲と地上

雷とは

んには、けんちゃんです。毎年、落雷による被害が多数発生しています。今回は、知っているようで知らない「雷」についてご紹介します。

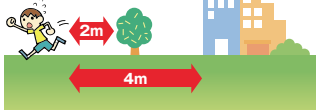
以上離ればさらに安全です。

◆近くに安全な場所がない場合は

電柱や建築物などの高い物体から4 m以上離れた場所に退避しましょう。また、高い木の近くは危険なので、木の全ての幹や枝から2 m以上は離れましょう。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにしましょう。



▼防災対策課 ☎23局3548



です。また、近くに高いものがあると、それを通って落ちる傾向があり、グラウンドや砂浜などの開けた場所や、山などの高いところでは人に落雷しやすくなります。

◆安全な場所は

鉄筋コンクリートの建築や車、バスなどの内部に避難しましょう。また、木造建築の内部も基本的に安全ですが、電気器具や天井、壁から1m以上離れればさらに安全です。

◆近くに安全な場所がない場合は

電柱や建築物などの高い物体

から 4 m 以上離れた

場所に退避しましよ

う。また、高い木の

近くは危険なので、

木の全ての幹や枝が

ら2 m以上は離れま

しょう。姿勢を低く

して、持ち物は体よ

さないようにしまし

▼防災対策課 ☎23局

けん
ちゃん

防災知恵袋

26

落雷被害から身を守る

みんなで取り組む防災・減災

